道路附属物等個別施設計画

〇対象施設：下記一覧のとおり

〇計画期間：令和8年度から令和12年度

〇基本方針：道路附属物等の老朽化対策を確実に進めるために、現場点検、診断、今後の対応方針、記録という流れで、メンテナンスを構築する。

〇対策の優先順位と考え方：点検結果に基づき、道路附属物等の健全性のほか、路線の重要度などを総合的に勘案して決定する。

〇対策内容と実施時期：下記一覧のとおり。定期点検の効率化や高度化、修繕措置の省略化や費用縮減を図るために点検や対策において、管理する施設について新技術を採用し、令和12 年度までに2橋に対し約10万円のコスト縮減を図ることを目標とする。

〇対策費用：下記一覧のとおり。

管理する横断歩道橋は通学路に指定されており、学校の子どもや近隣住民の日常的に利用され、歩行者の安全確保の観点から集約化・撤去を行うことが困難である。通学路の変更やその他事象が生じた場合、撤去を検討する。

※修繕計画については、点検結果や予算措置状況等により見直すことがあります。

令和8年8月

施設名	路線名	所在地	建設年度	橋長（m）	幅員（m）	点検計画					判定区分	点検実施時期	修繕計画					対策後区分	修繕実施時期	修繕内容	対策費用（百万円）
						R8	R9	R10	R11	R12			R8	R9	R10	R11	R12				
ハイタウン北方前横断歩道橋	町道400号線	北方	不明	16.2	1.5		○				Ⅱ	R4			○			Ⅱ		点検結果による	同左
校南歩道橋	町道10号線	北方	1983年	11.7	1.5	○				○	Ⅰ	R3						Ⅰ	R5	塗装塗替　等	25
~~門型標識1~~	~~町道4号線~~	~~北方~~	~~不明~~	~~－~~	~~9.5~~						~~Ⅲ~~	R2						－	R3	老朽化に伴い撤去	3
~~門型標識3~~	~~町道1号線~~	~~北方~~	~~不明~~	~~－~~	~~6.0~~						~~Ⅱ~~	R4						Ⅱ		点検結果による	同左